

第一化成株式会社との間での シンジケーション方式による「グリーンローン」の実行について

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」）は、ウルトラファブリックス・ホールディングス株式会社の子会社である第一化成株式会社（代表取締役社長：中川 豊彦、以下「第一化成」）との間で、本日、シンジケーション方式によるグリーンローン（以下「本ローン」）契約を締結しました。

グリーンローンとは、「グリーンローン原則」（※1）に準拠し、環境課題の解決・緩和に資する事業の資金を調達するために実行されるローンです。第一化成は、「グリーンローン原則」及び環境省の「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン」に基づき、2024 年 10 月に「グリーンローン・フレームワーク」（以下「本フレームワーク」）を策定し、第三者機関である株式会社格付投資情報センター（R&I）からセカンドパーティ・オピニオン（※2）を取得しています。本ローンは、同オピニオンを踏まえたグリーンローン調達です。

ウルトラファブリックス・ホールディングスグループは、「サステナビリティを重視し、社会に貢献する」を経営理念の 1 つに掲げ、グループの製品を通じてサステナブルな社会の形成に貢献すべく、持続可能な素材の活用、高い耐久性による長寿命化、最終製品（電気自動車や航空機等）の燃費向上につながる軽量化などに注力した製品展開を行っています。

また、CO2 排出量の削減目標、水使用量の削減目標および生産量に対する廃棄物比率に関する目標を定め、製造プロセスにおける環境負荷低減にも取り組んでいます。

みずほ銀行は、第一化成の環境負荷低減に向けた取り組みをファイナンス面から支援すべく、第一化成が本フレームワークに基づきグリーンプロジェクトとして実施する、群馬県邑楽郡千代田町の新工場建設資金を対象に、本ローンを組成しました。

〈みずほ〉は、持続可能な社会の実現に向けた取り組み（サステナビリティアクション）を強化しており、環境・社会課題解決に向けた資金の流れを創出するサステナブルファイナンスや金融を超える知見・機能を活用したソリューション提供を通じ、SX（サステナビリティ・トランスフォーメーション）に向け、お客さまとともに挑戦していきます。

＜本ローンの概要＞

融 資 先：第一化成株式会社
契 約 形 態：コミットメント期間付きタームローン
契 約 金 額：55 億円
契 約 締 結 日：2024 年 10 月 30 日
資 金 使 途：千代田新工場建設に係る設備資金

（※1）グリーンローン原則：

Loan Market Association とアジア太平洋地域業界団体 Asia Pacific Loan Market Association が 2018 年 3 月に策定した環境分野に用途を限定する融資の国際ガイドライン。
2018 年 12 月には The Loan Syndications and Trading Association も参画。

（※2）株式会社格付投資情報センター（R&I）による評価レポートをご参照ください。

<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/greenfinance/index.html>

以 上